

令和5年度地域懇談会②



12~21区の実施状況

20区の地域懇談会＝8月9日

■問い合わせ先…まちづくり推進課 ☎46-5578

町長が全行政区に出向いて町民の皆さんと意見交換する地域懇談会を、6月1日から8月10日にかけて各地の公民館などで開催し、参加した町民の皆さんと、さまざまな町政課題について意見を交わしました。寄せられた質問や意見について、今回は、12～21区の主な内容を掲載します。1～11区分は、10月号に掲載しました。

主な質問・意見

■【12区】（7月20日）

Q 中学校の地域懇談会で、あいさつをしない子が多いことや、親に伝えたいことを言えない、親も子に伝えるのが難しいという話を聞いた。中学校の情報を地域に伝えて、地域ぐるみで子どもたちを育てていく環境をつくってほしい。

A 昨年度から平泉中、平泉小、長島小それぞれの学区でコミュニティースクールという学校運営協議会を設置し、地域の皆さんにも学校に関わっていただく体制をつくりました。学校側から地域への情報の発信が課題だと感じました。

ので、前向きに考えていきます。

■【13区】（7月21日）

Q 景観条例の規制でカーポートを設置することができず建物建てたが、費用が10倍近くもかかったので補助制度を設けてほしい。規制が厳しく、若者が町外に出てしまふ現状があるので規制を緩めてほしい。

A 景観に配慮した場合の補助金制度や、その他の住宅政策に関する補助制度があり、チラシで活用を周知していきます。中尊寺通りは特に規制が厳しいエリアとなっておりますが、条例制定後10年が経過しましたので、見直しの必要性について検討を進めていきます。



景観に配慮し、電柱が地中化された中尊寺通り

■【14区】（7月24日）

Q 新しい防災無線が受信できず、個別アンテナを設置した。災害に備えて受信できるものを設置するべきではないか。

A 令和2年度の予備調査で長島地区も問題がないという結果でしたが、いざ設置してみると受信できない地区が出てしまったため、個別アンテナを設置して対応しています。今回の事態は、事業者の予備調査に不備があり電波状況が良くなかったものなので、一部事業者に負担を求めています。今後も

不具合がある場合には出向いて調査し、対応していきます。

■【15区】（7月26日）

Q 長島は災害が少ない土地だと言われているが、万が一大きな災害が発生した場合に、どのように避難すればよいか周知してほしい。

A 15区公民館も避難所になっていきますが、この地区で地滑りや堤の決壊などがあれば、長島体育館も避難所として開設する場合があります。特に高齢者などは早めの避難が必要です。消防団や水防団もパトロールして避難を促しますが、その呼びかけがあったときに対応できるように知識を蓄えておくことが大切です。広報やホームページなどで町も情報を共有しますが、地域で実際に動いて訓練などを行うことが大切と考えています。

■【16区】（7月27日）

Q 今年はモモの生育が非常に良い。温暖化の影響で、近年、平泉がモモの適作地になってきているので、町で推奨してほしい。

A 気候の影響や生育状況を調査しながら、モモの産地化も選択肢の一つとして考えていきます。

■【17区】（7月31日）

Q 令和6年度、社会福祉士を町職員として採用するようだが、どの課に所属し、どのような仕事を進めていくのか。

A 国のことも家庭庁の発足に伴い、町は令和6年4月に「こども家庭センター」を設置し、社会福祉士は専門職として保健師とともに家庭に入り、個別に支援計画を作成するなど、子どもが生まれてから高校卒業までの切れ目のない子育て支援を展開します。

■【18区】（8月1日）

Q 県道相川平泉線は急カーブが多い上に道路が狭く、バスなどの大型車両がセンターライン

を越えて走行し危険なので、整備してほしい。

A 県道相川平泉線の道路改良については県に要望しており、今年には町長から知事に直接要望しました。改めて担当課を通じて県に要望します。

■【19区】（8月7日）

Q 長島小の児童数が何人ぐらいになると統合となるのか。人数の基準はあるか。



校庭を元気に駆け回る長島小学校の児童たち

A 人数の基準はありません。複式学級になるなど、子どもたちへの影響が出てくるようであれば地域や保護者の皆さんと相談し、考えなければなりません。

■【20区】（8月9日）

Q 町の補助金は出しっぱなしになっていないか。もう側も当たり前になっていないか。経費節減の努力をしない団体には減額すべき。また、観光関係の補助金の比率が多いように感じるが、もっと子育て支援にも振り向けてほしい。

A 団体への補助金は毎年査定して、決算や次年度の収支予算書などにより、団体がしっかり事業を行っているか確認しています。今後も適正な交付を心がけます。

■【21区】（8月10日）

Q 県道一関北上線の事業の現状と今後の予定は。

A 令和2年度から着手しており、1工区の小島側と2工区の長部側に分けて、1工区から優先的に進めていきます。1工



改良の事業が進められている県道一関北上線

（終わり）